



全長10kmに及ぶ「チョコシナイコース」を歩くフットパスイベントの様子

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

黒松内フットパスクラブ

【黒松内町】

美しい自然、農業景観を存分に楽しめる歩く小径「フットパス」

はじめは？

北限のブナをシンボルとする黒松内町の豊かで美しい自然、農村景観、地域の歴史・文化を活かし、ヨーロッパの農村のように都市の人々を招き入れ、交流を図る体験型・滞在型のまちづくり「ブナ北限の里づくり」の取組みの一環として歩く、英国での取り組みをモデルとする歩く小径「フットパス」の整備・活用を図ることを目的として、2004年6月に前進の黒松内町フットパスボランティアを設立いたしました。その後、2019年5月に黒松内フットパスクラブへと名称を変更し、道内でも歴史の古いフットパス活動団体として活動を続けております。

おもな活動

2004年6月に前身である黒松内フットパスボランティア設立後、町内のコース設計に役立てるため、本場イギリスへのフットパス研修等の先進地視察を行いました。この経験を元に旧道をフットパスコースに活用し、草刈り等のコース整備を行い、農村風景を楽しめるようにコース設計を行い、同年10月に「チョコシナイコース」が完成し、初のフットパスイベントを行いました。これを機に徐々にコースを増やしていき、現在は計4コースを運用しています。年間数回のフットパスイベントを主催



コース整備の様子

する他、フットパスウォークを楽しみたいと黒松内を来訪する利用者の受入及びフットパスの普及PRを図っています。また、毎年コース点検や定期的な草刈りを実施し来訪者に満足いただけるようコースの維持管理も行っています。

ここが自慢

【「自然」「農業」「人の営み」をつなぐ活動】

全国でも有数の美しい自然、農村景観を存分に楽しめるコースが特徴となっております。

「にほんの里100選」に黒松内町が選ばれており町では景観条例を策定、「日本で最も美しい村」連合にも加盟する等、自然と調和した景観を維持する町づくりが行われています。国の天然記念物「歌オブナ林」や日本最古の湿原「歌才湿原」等への自然保護活動も行っています。黒松内の丘陵景観、牧草地、ジャガイモ畑やそば畑等の農業景観、統一された里山環境を体感する上で、歩く速度でゆっくりと観光できるフットパスの活動は、「自然」「農業」「人の営み」を有機的につなぎ、観光地では味わうことのできない黒松内ならではのアピールできる活動となっております。



夏のグルメフットパスBBQの様子

連絡先

代表者名：加藤静治郎さん／設立：2004年／会員：15名

住所：黒松内町字黒松内545黒松内温泉ぶなの森内

電話番号：0136-72-3597

FAX：0136-75-7070

E-mail：bunasatourism@gmail.com

URL：https://www.bunasatourism.com/